

紫外線でウイルス殺菌

1年間賠償責任保険付き

ESG環境プロデュースを手掛けるティーエー（東京都中央区）は、シグニファイジャパン（同品川区）/2016年フィリップスから分社化）の「UV（紫外線）殺菌器」の販売を5月より開始。ユーザーが安心して利用できるよう、無償の賠償責任保険付きとなっている。

ティーエー

取り扱う製品は、照明製品大手シグニファイジャパンの「UV-C」シリーズ。上層空気除菌器、室内空気殺菌器、殺菌トローリーなど、オフィスや事務所、小売店や飲食店など幅広いシーンで活用できる製品を展開する。人感センサーやタイマーなど、多重の安全機能を

標準装備し、安全性を追求した。

「ウイルスの感染経路は、空気を介した感染と、物体表面を介した感染の2つに分けられますが、UV-C殺菌はどちらにも有効です。殺菌対象を適切に見極め、それぞれのアプリケーションに最適なUV-C殺菌機器を選定します」（ティーエー 谷澤泰介社長）



▲フィリップス UV-C 上層空気殺菌器。天井タイプ(左)と壁付タイプ



▲フィリップス UV-C 室内空気殺菌器



▲フィリップス UV-C 殺菌トローリー。アーム1本タイプ(左)と2本タイプ

「フィリップス UV-C 上層空気殺菌器」は天井タイプと壁付タイプ

オープンオフィスの場合では天井タイプ2台、または壁付タイプ5台が設置目安。福祉施設や病院、学校、飲食店など様々な業態の施設で使用可能な「フィリップス UV-C 殺菌トローリー」は、

オーブンオフィスの場合では天井タイプ2台、または壁付タイプ5台が設置目安。福祉施設や病院、学校、飲食店など様々な業態の施設で使用可能な「フィリップス UV-C 殺菌トローリー」は、

規模施設向けデスクライトや生活雑貨や食器などを殺菌する殺菌庫なども取り扱う。なお、シグニファイは米国ボストン大学と COVID-19 を引き起こすウイルスを不活性化させる光源の有効性を検証した結果、同社の UV-C 光源は物体表面に付着したウイルスの99%を6秒で不活性化したという。

感染対策の負担軽減

コンセントタイプで最大約380平米（ライントから半径約11m）内の机や壁に付着するウイルスを殺菌する。アーム1本タイプと2本タイプがある。同じくコンセントタイプで最大約80平米までカバーする。これらの製品の最大の特徴は三井住友海上の賠償責任保険が1年間無償で付帯されること。法人の場合、1事故につき対人3000万円、対物500万円を上限に支払われる。そのほか一般家庭や小規模施設向けデスクライトや生活雑貨や食器などを殺菌する殺菌庫なども取り扱う。

LIFE活用による介護DX推進



株式会社ブルーオーシャンシステム
開発部 企画グループ課長
沖本 崇
(おきもと たかし)

映像制作会社、プライダカメラマンから介護業界へ入職。営業部門、カスタマー部門を経て現在は主に営業推進、広報活動に従事。創業から介護業界のDX化を推進する会社の思いを伝えるエンバジェリストとして活躍中。

第3回 施設経営者としての果実

今回は具体的にユーザの経営者目線での成功事例を紹介いたします。ALSOK介護（代表取締役社長・宮澤裕一氏）では2018年より弊社システム導入が開始され、導入後の費用

現在60を超える事業所で活用されています。導入当初から「ICTリテラシーが低い業界体質」に依存的な紙運用「ノウハウ」などを根本から改善し、導入後の費用

「対効果」の可視化を行うため、弊システムと見守りセンサー等を組み合わせた、職員人件費1名分以上のコスト改善となるモデルを構築しました。私が一番驚いたのは、本部スーパーバイザー（以下SV）が「これからシステム導入を経験する事業所責任者およびケアスタッフは導入への不安が大きく、且つ『見えないものへの恐れ』がある」ことを明確に意識させていて、初期段階でケアプラン移行やタブレット操作などの導入支援を集中的に行い、一気に本

成功体験の好循環が続く



▲コスト改善モデルを構築した

稼働させるノウハウを確立して実行したことです。結果的に、大半の事業所は標準的な業務移行期間と定めている2ヵ月を下回る期間で本稼働しています。次回は見守りセンサーを含めたICT導入の課題と成功事例をご紹介致します。

大幅に改善されて、帳票管理などコンプライアンスに関わる指導も現地ではなくシステム上で確認できるようになったり、緊急時の近隣施設との職員勤務の調整が容易になることなどを効果として挙げています。副次的な効果としては、システム運用を習得した職員の離職率が下がり、法人全体として人材とノウハウの定着が教育コスト減につながり、システム導入原資を生み出し、追加導入が推進できる好循環を加速させています。

大幅に改善されて、帳票管理などコンプライアンスに関わる指導も現地ではなくシステム上で確認できるようになったり、緊急時の近隣施設との職員勤務の調整が容易になることなどを効果として挙げています。副次的な効果としては、システム運用を習得した職員の離職率が下がり、法人全体として人材とノウハウの定着が教育コスト減につながり、システム導入原資を生み出し、追加導入が推進できる好循環を加速させています。

健康アプリ 八王子市で導入

イベント参加でポイント付与

ベスプラ

ITサービスのベスプラ（東京都渋谷区）が提供する健康アプリ「脳にいいアプリ」を利用した自治体向け健康ポイント連携サービスが、経産省の「自治体×ヘルスケアベンチャー企業等共創プログラム」を通じて、東京都八王子市で採用された。脳にいいアプリは日々の食事や歩数などを記録することで、AIによってその人に最適な活動を提案するもの。八王子市民に対して、アプリの利用を促し、健康活動や八王子市のイベントに参加することで健康ポイントを付与。健康ポイントは八王子市内の店舗で利用できるようにすることで、市民の健康促進と消費活動の活性化を狙う。

商材・サービス

週刊 高齢者住宅新聞

ためし読み

新規購読
検討者
限定

1か月間(4号分)無料でお届け

※既に本紙を定期購読して頂いている法人・個人は対象外となります。



- 発行形態
定期購読・タブロイド版、毎週水曜日発行(月4回、各20ページ～)
- 主要読者層
施設運営会社、介護サービス会社、医療法人、社会福祉法人、人材サービス、給食・配食会社、不動産・建設会社、土地所有者、設備機器・建材、システム関連、金融関連、自治体ほか
- 年間購読料 21,000円(税別) ※送料込

高齢者住宅新聞は、介護・医療の経営や運営に役立つ情報をギュッと凝縮した経営専門紙です。取材を通じて「生きた経営・運営情報」を掲載しているのが特徴です。

自動的に定期購読にはなりません!!

お試し期間が終了したら、お客様の定期購読のご意向をお伺いします。

お試し後、納得したら定期購読を!!

「試して納得」

ためし読みのお申し込みはHPかメールにて

HP 高齢者住宅新聞 検索

Mail info@koureisha-jutaku.com

お申し込み受付後、最新号から1か月間(4号分)の高齢者住宅新聞をお送りします。